

平成 30 年度 富士まかどショートステイ事業報告書

1. 事業運営の概況

個室型ユニットケアの特色を活かした利用者様に安心信頼できるサービスの提供に努めることができた。職員一人ひとりが、利用者様の思いとそのご家族の介護に対する思いを受け止め、負担軽減を支援するサービスを提供し、選ばれる施設を目指した。その結果、1日の平均利用者数は6.3人、前年度対比104%となった。

2. 事業計画実施状況

本年度より部署単位による目標カードを活用した新たな試みを実施した。

内容は、堅実な事業運営②サービス向上に向けた取り組み③コスト削減への取り組みの3項目を柱として取り組んだが、具体性にやや欠け不十分な結果であった。

(1) サービスの質の確保・向上させるための方策

- ① 居宅ケアプランに沿ったサービスの提供をし、利用者様やご家族のニーズに応じたケアの支援に努め信頼関係を築いた。
- ② 統一したサービス提供するため、内部研修については受講できたが外部研修においては受講することができなかった。
- ③ 苦情となりうる全ての項目について、チームで改善策を検討し、実施することで苦情ゼロを目指した。

(2) 稼働率を上げるための方策状況

- ① 機能訓練レクリエーションや四季を感じられる行事等の余暇活動取り入れ、利用者様から「また来るよ」と言われるようなサービスの提供に努めた。
- ② 利用者様・ご家族・担当ケアマネージャーとの密にコミュニケーションを取り、定期利用に繋げるように努めた。

結果、本年度の稼働率は前年度より1.2%増加し、31.3%となった。

3. 業務改善状況

- ① ヒヤリハットを最大限に活用し事故ゼロを目指したが、ヒヤリハットの報告は6件程度であった。また、事故報告書については11件が報告された。
- ② 消耗品の使用量削減への取り組みを目指したが使用量の削減を図ることができなかった。
- ③ 常に節電・節水に心掛け、電気・水道使用料金の削減への取り組んだ結果、電気代については1,032円の節電ができた。また、デマンド最高値が137から133に低下し670千円の削減ができた。しかしながら水道料については屋上に設置している給湯設備の水漏れにより節水ができなかった。

平成 30 年度実施行事

平成 30 年度年間行事	
開催月	行事名
4 月	外出（お花見）、いちご狩り
5 月	運動会
6 月	外出（富士楽座、海の丘見える公園）、園児との交流
7 月	スイカ割り、流しそうめん、七夕飾り
8 月	スイカ割り
9 月	外出（食事）、敬老会
10 月	福祉展見学・外食（昼食）
11 月	外出（紅葉狩り）・
12 月	外出（ポップサーカス富士）、クリスマス会（手作りデザート、にぎり寿司バイキング、ゲーム）
1 月	かるた遊び
2 月	節分・おやつ作り（ケーキバイキング）、まぐろ解体ショー
3 月	ひな祭り